

社会福祉法人佛子園 常務理事 村岡 裕



三草二木

西園寺

SAIENJI
Since 1473

廃寺を地域コミュニティセンターに



多機能施設『三草二木西圓寺』

■地域のコミュニティーセンター(温泉・カフェ)



◆就労継続支援B型(定員14名)

カフェ・環境整備(特に温泉清掃)

味噌漬物製造 etc.

◆生活介護(定員6名)

◆高齢者デイサービス(定員10名)

昼食 釜炊きご飯・目で楽しむ食事

入浴 天然温泉による入浴

2008年

ごちゅまぜのはじまい！



温泉客

野田町住民

- ・温泉の利用
- ・「市」の利用
- ・カフェの利用

高齢者

- ・働く場(ワークシェア)
- ・デイサービスの利用(定員10名)
- ・憩いの場

ボランティア

障害者

- ・働く場(就労継続B型(定員14名))
- ・生活介護の利用(定員6名)

圏域住民



ごちやまぜの力!

見学者

子供

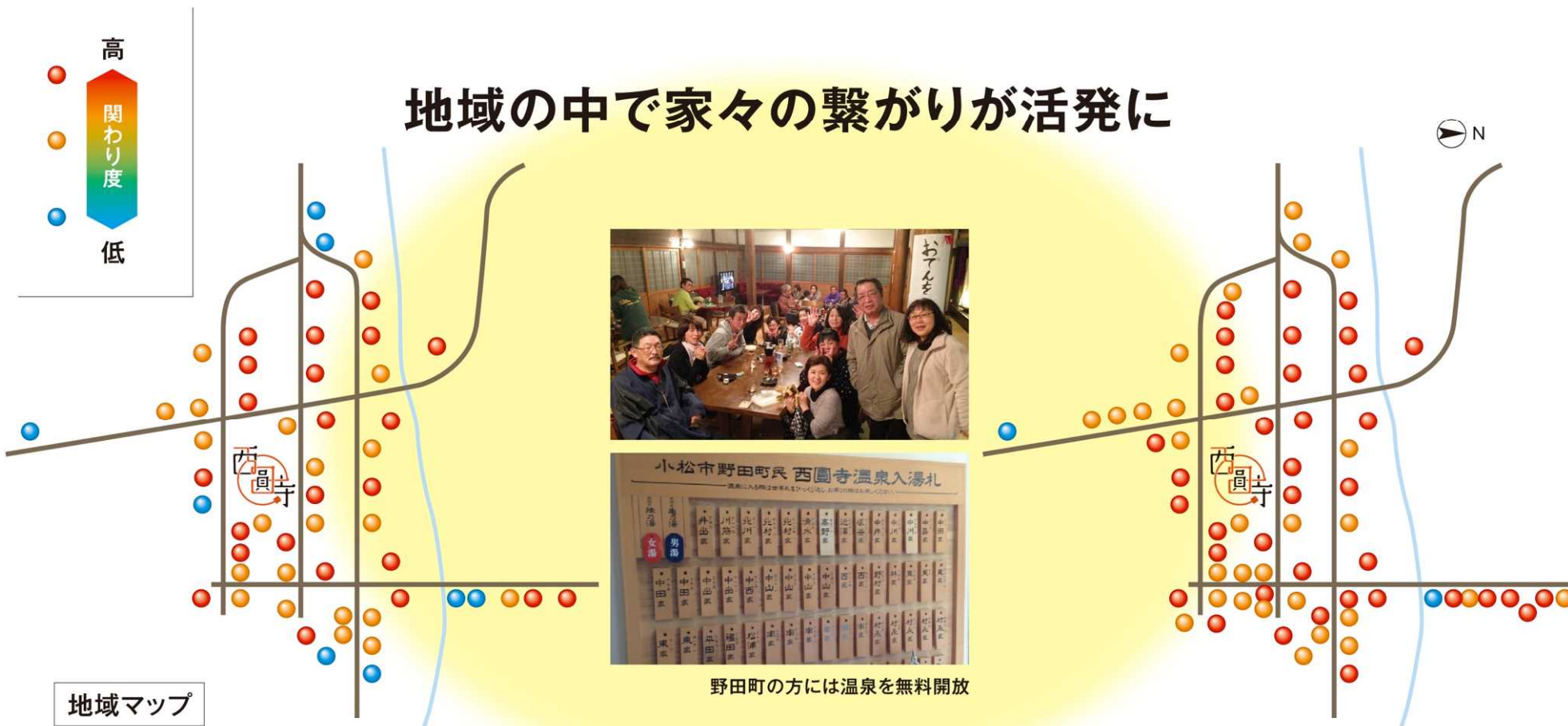
- ・遊び場として
- ・駄菓子屋



- ・小松市総人口……………108,585人
- ・小松市総世帯数……………41,082件
2015年 4月現在
- ・野田町総人口……………214人
- ・野田町総世帯数……………69件
2016年 4月現在

重度心身障がいの人と認知症の人が関わることで…

地域の中で家々の繋がりが活発に



2008年

55世帯から69世帯に増加

2016年

若者の定住と移住

現在は何と！
75世帯に！

「佛子園」の組織概要と取り組み事業

それぞれの地域に応じた コミュニティ支援を展開



B'sプロジェクト 2015年～

多機能高医療福祉連携の
住民自治モデル



美川37café 2012年～

駅利用者が1.5倍に！
「みんなが集う駅」に変貌



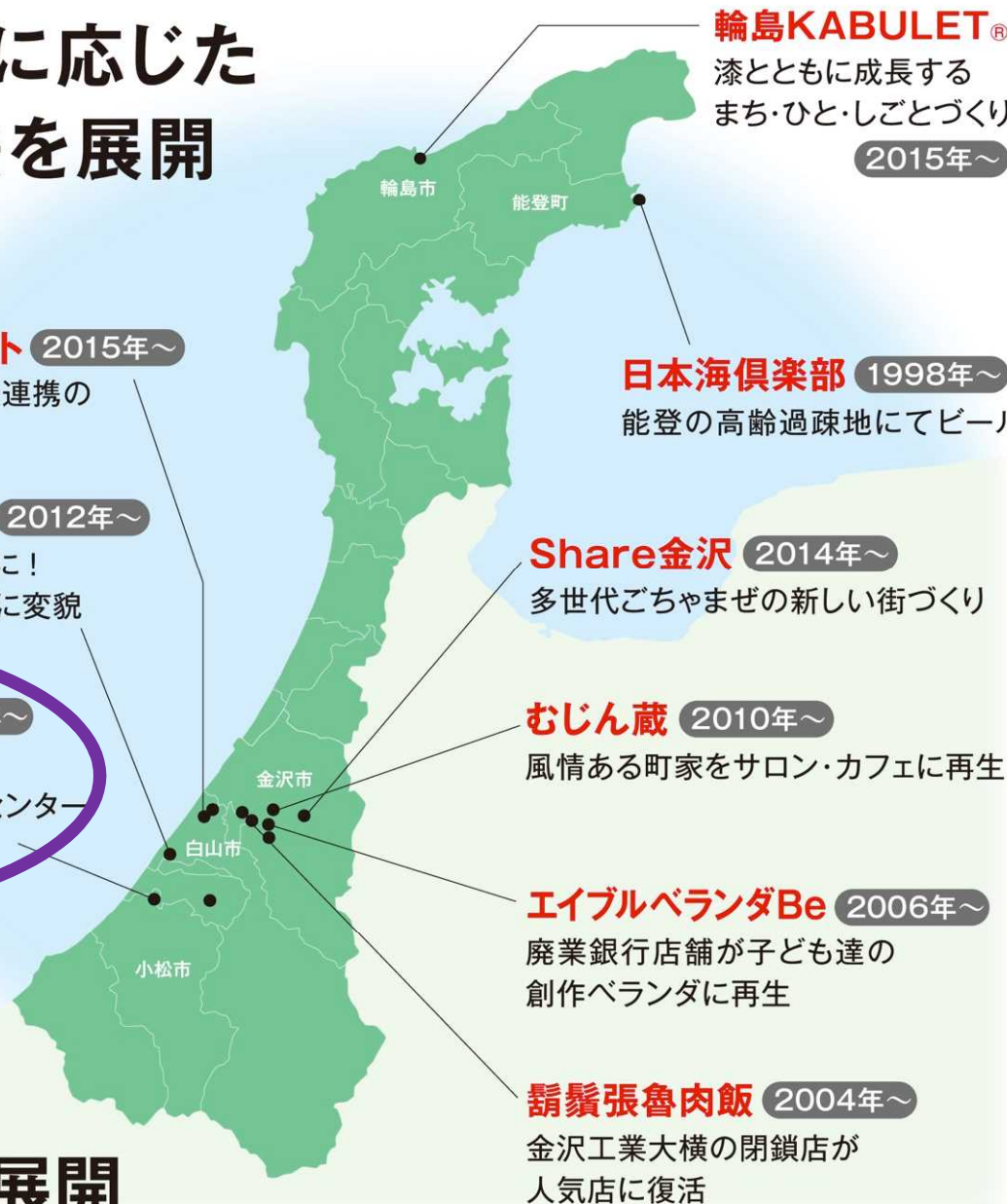
西圓寺 2008年～

廃寺を温泉に、
地域コミュニティセンター
として復興

ブータン・プロジェクト

「幸せの国」のさらなる
しあわせづくり

その他70事業を展開



1998年から街おこしに取り組む

日本海倶楽部【1998年～】



能登の高齢過疎地でビール醸造、 農福連携モデル

- 社会福祉法人による初めてのビール醸造事業化
- 働く場と機会が少ない能登で現地雇用を創出
- 日本初の福祉による耕作放棄地の復活と農地の維持
- 町営の宿泊客が15%増。
- 産直野菜市を開いての地域特産品の開発と販売



【施設型 生涯活躍のまち】

三草二木 西園寺【2008年～】



廃寺を地域コミュニティセンターに、 Share金沢プロトタイプ

- 障害がある人もない人も、子どもも高齢者も
みんなでつくるコミュニティ
- 少数特定の小さな町から人のつながりが徐々に広がる
- 人の関わりが密になり町の世帯数と人口が増加
(6年間で55世帯から68世帯に)



様々な地域コミュニティモデルを生み出す

美川37work
美川37café [2012年～]



駅の利用者が1.5倍に!
「みんなが集う駅」に変貌



- 駅の1日の利用者数が800人から1.5倍も増加
- 乗客以外に高齢者、障がい者の利用者が著しく増加
- カフェを中心にした地域コミュニティ拠点として多くの町民が利用



【エリア型 生涯活躍のまち】

Share金沢 [2014年～]



日本版CCRC
政府認定モデル



- 「生涯活躍のまち」No1モデルとして全国から見学者多数
- 高齢者、障害者、学生が共存、私がつくる街
- 高齢者が店舗の担い手として販売担当
- 学生がボランティア活動の担い手として活躍

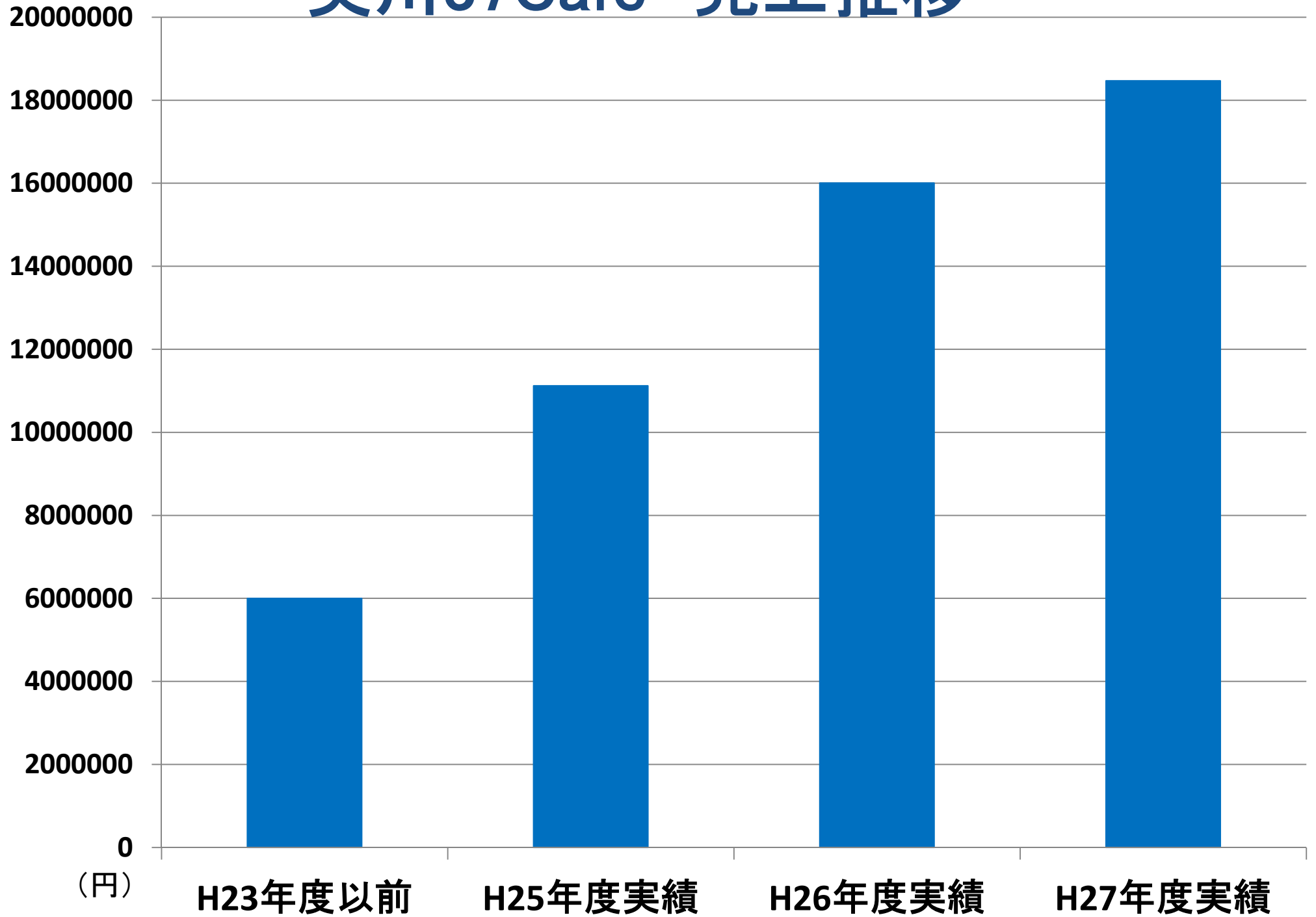


協力店舗・団体

- スタート当初～
- 主要協力店
- H26年度～新規



美川37Café 売上推移





シェア
Share 金沢

日本版CCRC政府認定モデル





Share金沢



この街をきれいに「洗濯」!
代表/大久保雅之



美味しいものに国境はない!
シェフ/石田祐一



笑顔と幸せをつなぎます!
助産師/頼 玲瑛



**人がつながる
新しい街モデルをデザイン!**
プロデューサー/下田武央



**楽しい音楽と
うまい酒があふれる街に!**
店長/北村悦子



私がつくる街

SOUTH地区

- S-1番地 天然温泉
- ニューももや(レストラン)
- S-Grill.(配達サービス)
- 高齢者デイサービス・生活介護・訪問介護

EAST地区

- E-1番地 E-2番地 児童入所施設
- E-3番地 S-ステーション
- E-4番地 グリーニング&コインランドリー「おしゃれ洗料 ハンスプラス」
- E-5番地 バックヤード
- E-6番地 児童発達支援センター「S-ベランダ」
- E-7番地 「PSI-地域スポーツシステム研究所」
- E-8番地 ネイチャー・コミュニケーション「NPO法人 ガイア自然学校」
- E-9番地 アトリエ付き学生向け住宅
- E-10番地 全天候型グラウンド「S-Stadium」

MIDTOWN

- M-1番地 児童入所施設
- M-2番地 サービス付き高齢者向け住宅
- M-3番地 サービス付き高齢者向け住宅
- M-4番地 学生向け住宅
- M-5番地 学生向け住宅
- M-6番地 学生向け住宅
- M-7番地 学生向け住宅
- M-8番地 産前・産後ケア金沢「子そだて応援1.2.SUN」
- M-9番地 サービス付き高齢者向け住宅
- M-10番地 学生向け住宅
- M-11番地 学生向け住宅
- M-12番地 児童入所施設
- M-13番地 サービス付き高齢者向け住宅

NORTH地区

- N-1番地 日用品・生活雑貨「若松共同売店」
- N-2番地 ボディケア & からだ塾「金澤東山ゆらり」
- N-3番地 フーズ・セレクトショップ「TARAYANA JAPAN」
- N-4番地 Planning & Creative「グルーヴィ」
- N-5番地 Publish Bar「Mock」
- N-6番地 Foods & Smile「加藤キッチンスタジオ」

WEST地区

- W-1番地 アトリエ付き学生向け住宅
- W-2番地 サービス付き高齢者向け住宅
- W-3番地 サービス付き高齢者向け住宅
- W-4番地 「ウクレレバイナ金沢」

シェア金沢

〒920-1165 金沢市若松町セ104番1 Tel.076-256-1010
E-mail:s.kanazawa@bussien.com



スポーツを通して人づくり、街づくり!

所長/榎 敏弘



GAIJA自然学校
Nature Communication

元気な子どもと元気な未来をつくる!

代表/成田 裕



**この街の住人を元気に、
健やかにする!**

ボディケアセラピスト/吉原みゆき



**北陸のウクレレのメッカに!
この街から世界発信!**

代表/藤本美和、ナガイアキラ、Gen



**この街から金沢の
新「食King」スタイルを創造!**

代表/加藤重和



私がつくる街 Share金沢

平成24年3月26日街びらき

- 児童入所・短期入所
- 児童発達支援センター・放課後等デイサービス・
相談支援事業
- 就労継続支援A型・B型・就労移行支援
- 生活介護
- 高齢者デイサービス・訪問介護

- サービス付き高齢者向け住宅
- 学生住宅

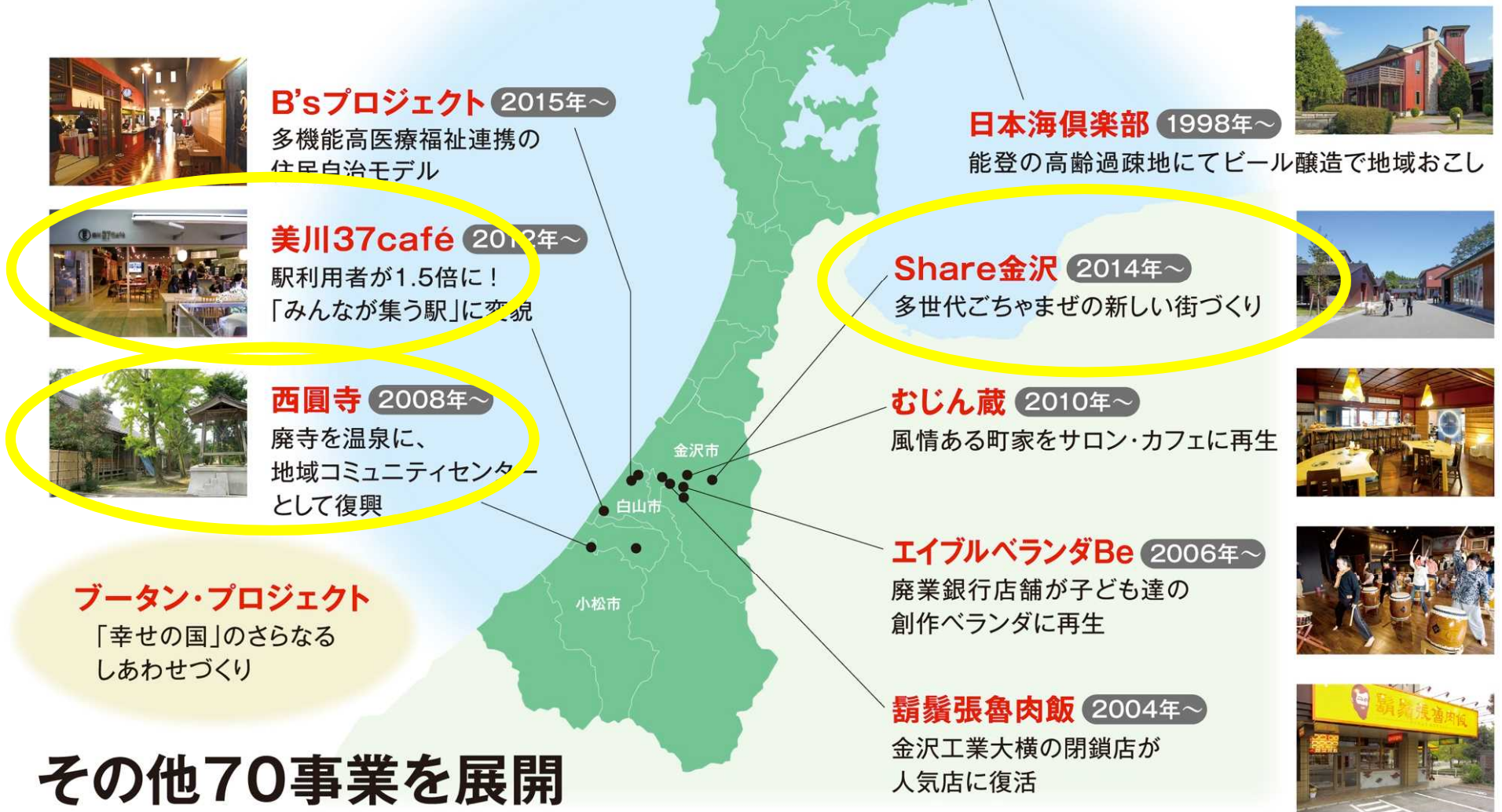
- 放課後学童クラブ

考察

- ごちやまぜは、お互いを必要とする
- ごちやまぜは、感謝の気持ちが芽生える
- ごちやまぜは、人と人とのつながりを生む
- ごちやまぜは、ゼロから1を生み出す！

「佛子園」の組織概要と取り組み事業

それぞれの地域に応じた コミュニティ支援を展開



その他70事業を展開



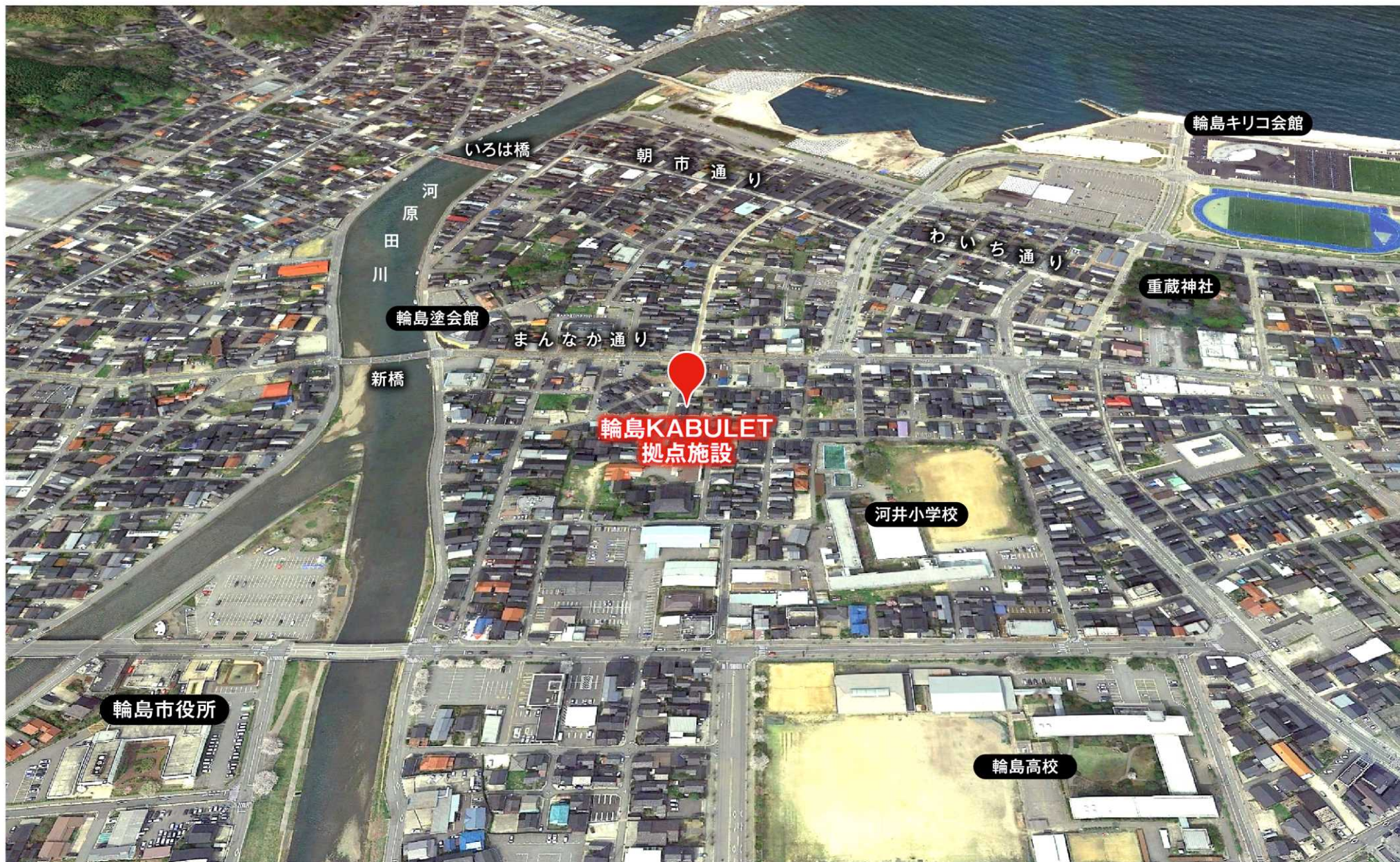
生涯活躍のまち

輪島KABULET®



集え!! “かぶれ人”

輪島KABULET MAP — 三ノ湯・七ノ湯・やぶかぶれ





輪島KABULET[®]






輪島KABULET®

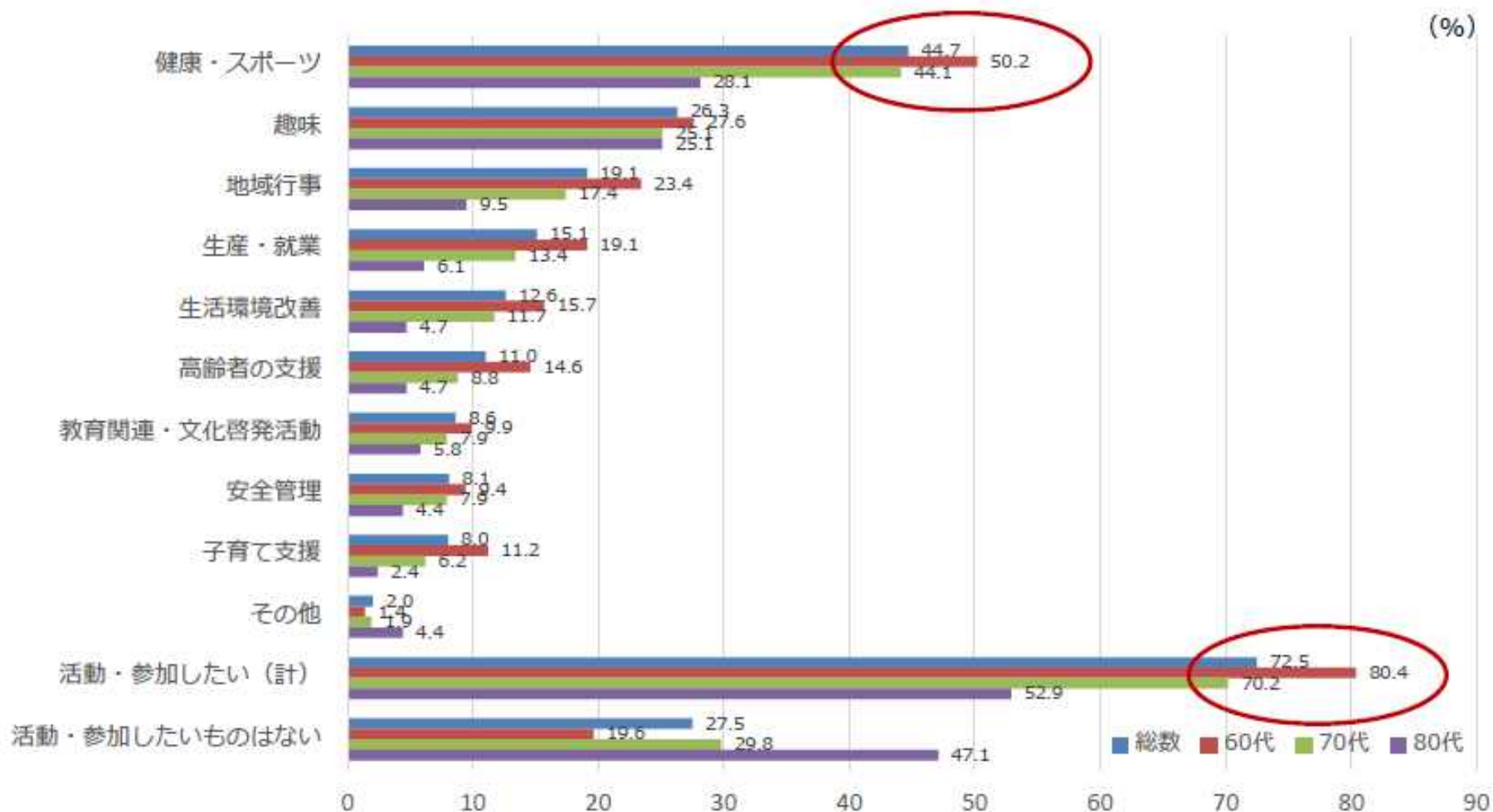
三津七湊図



高齢者の社会参加への意向

- 「活動に参加したい(計)」と考えている人は、約7割(72.5%)となっている。
- 60代で「健康・スポーツ」に参加したいと思っている人は、約半数(50.2%)となっている。

高齢者の社会参加活動への考え方に関する事項 (参加したい活動)



(資料出所)内閣府「平成25年度高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」

奥能登初のサービス付き高齢者向け住宅



もうひとつのごちゃまぜ

うめのやBULLET

スペインバル

外国人向けゲストハウス

B's Kitchen (配食サービス)

居酒屋 餅・製粉・製麺工場

グループホーム Kiitos (キートス)

子育て支援住居

新事業所受け皿期待

石川県の奥能登地域（輪島、穴水、珠洲、能登の四市町）の障害者就労支援の環境に変化の兆しが表れている。これまでなかった就労継続支援事業所の「A型」が七月に輪島市に開設され、新たな受け皿に期待の声が上がっている。ただ、一般就労へのハードルは高く、過疎地の障害者の社会進出への壁は依然として厚い。

（武藤周吉）

奥能登の障害者就労支援

輪島市にオープンした障害者就労継続支援A型事業所の輪島KABU-LET。一人暮らしの高齢者らへの配食サービスを請け負っており、時給は最低賃金を上回る約七百六十円。知的障害者や精神障害者ら十五人が丁寧な手つきでおかずを食器に盛り付けていた。

なかかった。事業所には国から給付金が支給されるが、障害者の賃金は事業の収益から支出するのが原則。過疎化が急速に進む地域では仕事が少ない、効率的な事業展開が難しかった。A型は一般就労ができないくても働く意欲のある障害者にとって、社会進出の第一歩となる貴重な場だ。県

現場から



食器におかずを盛り付ける障害者。石川県輪島市小伊勢町の輪島KABU-LETで。

「A型」、輪島に初 一般就労は依然壁高く

障害者就労支援の内容

就労移行支援	一般就労に向けて職業訓練
就労継続支援A型	雇用契約あり。最低賃金を保障
就労継続支援B型	雇用契約を結ばず、工賃を支払う

が物足りないと感じている障害者の行き場がこれまでなかった。A型のニーズは「確かある」と語る。実際、見学の間合わせも相次いでいるという。

障害者の自立支援をしていく奥能登地域自立支援協議会の担当者は「能力に応じた受け皿の整備は重要。A型ができたことで障害者の社会進出のステップができる。さらに設立の動きが広がれば」と期待する。ただ、その先の一般就労が厳しい現状は変わらな


い。石川労働局によると、障害者雇用が義務づけられている従業員五十人以上の企業は県内に九百三十二社あるが、うち奥能登地域は二十四社のみ。小規模な企業ほど障害者雇用には消極的になりがちなのが実情だ。七尾特別支援学校輪島分校では二〇〇八年の開校以来、卒業生が一般就労した例は一人だけだという。学校関係者は「そもそも選択肢が少なく、事業者の理解が進まない。能力のある生徒はたくさんいるのだが」とため息をつく。

知的障害者の視でつくる輪島市手をつなぐ育成会の山本多恵子さんは「奥能登地域では障害者の働く環境が非常に厳しい」と指摘する。県内の四地域のうち奥能登は唯一、障害者の職業訓練をする就労移行支援事業所がないといい「人の能力に応じた受け入れ先の整備や支援の手を広げてほしい」と訴えている。

障害者就労支援対策 障害者就労継続支援事業所（A型・B型）は、一般就労が困難な障害者に就労の機会を提供し訓練をする。A型は障害者と雇用契約を結び、最低賃金以上の給料を支払う。B型は雇用契約を結ばずに簡単な作業を行ってもらい、一定の工賃を支払うが、金額の低さが課題。一方、就労移行支援事業所は、一般就労に向けた訓練をする。

ごちやませ、もう一つの側面

誰も拒まない
いや、拒めない！

A photograph of a cluttered entrance area. The floor is covered with numerous pairs of shoes, including sneakers, boots, and slippers. In the background, there is a window with a sign that says "AED" and some umbrellas hanging on the right. The text "ごちゃまぜは、お互いが機能する！ 無くてはならない存在として！" is overlaid on the image in white, bold, sans-serif font.

**ごちゃまぜは、お互いが機能する！
無くてはならない存在として！**